

大橋訥庵 儒学者。過激な攘夷思想で<坂下門外の変>を指導、直前に別件で捕らえられ、まもなく毒殺された。

おおはしとつあん

伊能測量終・1816 = 兵学者清水赤城の四男として江戸に生まれ、

水野忠成老中1818 = 2歳：

異国船打払令1825 = **9歳**：

シボク事件・1828 = 12歳：

シボク追放・1829 = 13歳：信州に赴き、一族の飯山藩士酒井力蔵の養子に迎えられる。

養父母は読書を喜ばず、

高島砲術・・1834 = **18歳**：

滑稽+人情本 1835 = 19歳：江戸に戻って留学、

大塩平八郎乱1837 = 21歳：_佐藤一斎に入門。

養家を辞して旧姓に戻り、

天保改革始・1841 = 25歳：*日本橋の商人大橋淡雅(菊池淡雅)の養子となる。養父の郷里宇都宮の藩士となり、藩主の侍講をつとめ、日本橋に思誠塾を開く。

順天堂始・・1843 = **27歳**：

阿部正弘首座1845 = 29歳：

_熱狂的な排外主義者で、

万次郎帰国・1852 = **36歳**：翌年にかけて*主著「關邪小言」を著述し、

ペリー来航・1853 = 37歳：*ペリー艦隊の渡来に際して、過激な尊王攘夷思想を主張するに至る。

安政大地震・1855 = 39歳：安政の大地震で一時疎開、

蕃書調所・・1857 = 41歳：_「關邪小言」刊行。

安政の大獄・1859 = 43歳：安政の大獄に際し、さらされていた頼三樹三郎の死体を葬るなど有志としての行動があった。

桜田門外変・1860 = 44歳：井伊暗殺には関係しなかったが、その後の和宮降嫁一件では反対運動に連なり、

遣欧使節・・1861 = **45歳**：

生麦事件・・1862 = 46歳：*老中安藤信正襲撃計画では斬奸状を執筆して中心的役割を果たすが(坂下門外の変)、別の挙兵計画にかかわって、坂下門事件の直前に捕らえられた。獄中で病気となり、思想的に因縁の深い宇都宮藩に預けられたが、すぐに没した。毒殺されたと伝えられる。

「性理郡説」「歳在歳次龍集」「恐懂神論」「隣儂臆議」「嘉永隨筆」。